

連続セミナー 障がい児・医療的ケア児の親と就労

第1回

障がい児を育てながら働く 綱渡りの毎日

障がい児や医療的ケア児は、成長してもひとりで外出したり、留守番をしたりできるようになるとは限りません。子の年齢で区切ることができない、終わりが無い障がい児の育児と仕事の両立は大変なものです。こうした困難さを相談する相手はなかなか見つからず、ひとりで抱え込みがちです。

障がい児や医療的ケア児を育てる親が仕事をあきらめなくてもいい、多様性を認め合う風通しのよい社会になることを目指して、このセミナーでは、障がい児育児と仕事の両立について取り巻く現状と課題を共有し、そこから見える必要な仕組みや支援制度について考えます。

第1回は、障がい児・医療的ケア児の育児と仕事を両立している親数人が、どのような日常を過ごしているのかなどについて報告します。当事者の親同士で情報や意見交換をするグループセッションの時間を設け、課題の「見える化」にも取り組みます。

Childcare and Work

2023年 7月1日(土) 10:00~12:00

オンライン開催 (Zoomを使用します) **無料**

第1部 10:00~11:20 (定員300名)

トークセッション

「障がい児を育てながら働く 綱渡りの毎日」

*参加対象者:どなたでも参加できます。

第2部 11:20~12:00 (定員30名)

グループセッション

「働く仲間とつながろう」

*参加対象者:障がい児・医療的ケア児の育児をしながら働いている、またはこれから働きたいと思っている保護者。

お問い合わせ先 セミナー事務局 work-parenting@asahi-welfare.or.jp

主催:障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会、社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

 朝日新聞厚生文化事業団

第1回 障がい児を育てながら働く 綱渡りの毎日

Program

10:00～10:10	ご挨拶 障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会会長 こども家庭審議会成育医療等分科会 工藤さほ 朝日新聞厚生文化事業団 業務執行理事 是永一好
10:10～11:20	第1部 トークセッション 「障害児を育てながら働く 綱渡りの毎日」 ・司会 市川亨さん(共同通信社編集委員/ダウン症) ・パネリスト 池田知世さん(共同通信社/ダウン症) 河崎智文さん(団体職員/発達障害) 工藤さほさん(朝日新聞社/重度の知的な遅れを伴う自閉症) 小林正幸さん(会社員、全国医療的ケア児者支援協議会親の部会長/医療的ケア) 深澤友紀さん(朝日新聞出版アエラ編集部/脳性まひ)
11:20～11:50	第2部 グループセッション 「働く仲間とつながろう」 * 参加対象者:障がい児・医療的ケア児の育児をしながら働いている、またはこれから働きたいと思っている保護者 ・数人のグループに分かれて、日頃困っていることや大変だと思うことなどについて、情報交換します。
11:50～12:00	まとめ

Profile

「障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会」

知的障がいや発達障がい、肢体不自由や難病、医療的ケア児など様々な障がいや疾患のある子たちを育てながら、働く親たちの会です。子の年齢は乳幼児から社会人まで幅広く、仕事との両立のための工夫や、当事者ならではの育児の悩みに関する情報交換、企業内に障がい児・医療的ケア児の育児支援制度を創設してもらうなど、仕事と育児の両立を可能にするための働きかけをし、実現もしてきました。朝日新聞社内の親たち8人で2016年11月に発足しました。現在、マスコミのほか金融、公務員、団体職員など様々な職場で働く親たち約100人が参加しています。親の死後も子の生涯にわたり扶養しなければと、経済的な備えをしておきたいと思ったり、死別や離別により一人で子育てをしている人もいたり、働き続けなければならない切実な諸事情を抱えた人も多く、働きたいけれど働けなくなった人も参加しています。2022年4月に日本新聞労連共催でオンラインによる業界初の実態調査報告会開催、2022年9月厚労省「障害児通所支援に関する検討会」、2022年12月超党派議員連「永田町子ども未来会議」、2023年厚労省「今後の仕事と育児・介護の両立支援に関する研究会」にてヒアリングをしていただきました。

Facebook



申し込み方法

- 朝日新聞厚生文化事業団HPの申し込みフォームからお申し込みください。
- 申し込み受付期間:6月18日(日)まで

申し込みフォーム



参加者には、開催前日までにご登録のメールアドレス宛に参加用URLをお送りします。

参加対象者

- 第1部は、どなたでも参加できます。
- 第2部は、障がい児・医療的ケア児の育児をしながら働いている、またはこれから働きたいと思っている保護者を対象とします。
- 第1部、第2部とも定員に達し次第、締め切ります。

お問い合わせ先 セミナー事務局
work-parenting@asahi-welfare.or.jp

次回の お知らせ

第2回は、10月頃に「取り残される障がい児・医療的ケア児の保護者たち」をテーマに、国の制度についてなど学びます。第3回は、2月頃に「誰もが働きやすい社会を目指して」をテーマで開催を予定しています。詳細は後日HPにて公開します。